

都市再生整備計画 事後評価シート

枚方市駅周辺地区

令和3年3月

大阪府枚方市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	枚方市		地区名	枚方市駅周辺地区			面積	104ha				
交付期間	平成27年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	3200.2百万円		国費率	0.5					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名													
		基幹事業	道路(北側道路整備事業)、地域生活基盤施設(歩行者用デッキ整備事業、施設前広場整備事業)、高次都市施設 地域交流センター(総合文化施設)、誘導施設 社会福祉施設(枚方市立枚方保育所整備事業)												
		提案事業	－												
	当初計画から削除した事業	事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	－				－				－				
	提案事業	－				－				－					
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(歩行者用エスカレータ整備事業)				更なる回遊性の向上と交通環境の改善のため				影響なし				
提案事業		地域創造支援事業 枚方市駅周辺再整備基本計画				本地区の持続的な発展を実現するまちづくり計画を策定するため				影響なし					
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	なし										
	変更	平成27年度～令和2年度													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	賑わい向上による地価上昇	千円/㎡	461	平成29年度	530	令和3年度	－	527 (見込み値)	△	あり	評価値は、令和2年度までの地価公示価格から算出した見込み値で、従前値から目標値に近づく上昇が見られる。令和3年度に枚方市総合文化芸術センターが開館すれば、地区の魅力が向上し、令和4年度の地価公示価格では、目標値の達成が可能と考えられる。	令和4年度内		
											なし				
	指標2	来訪者数の増加による売り上げ増加	百万円/年	310	平成29年度	757	令和3年度	－	757 (見込み値)	○	あり	総合文化芸術センターの来訪者数の予測値と、類似施設における飲食・買い物代金の平均値、及びチケット代金から評価値を算出した。令和3年度に総合文化芸術センターが開館すれば、目標値の達成が可能と考えられる。	令和4年度内		
											なし				
	指標3	公共交通利用者数の増加による売り上げ増加	百万円/年	24	平成29年度	83	令和3年度	－	86 (見込み値)	○	あり	大学の新学部創設や枚方市駅がリニューアルされたことによる公共交通利用者の増加数と、総合文化芸術センターの来訪者数の予測値から公共交通利用者の増加数を予測し、評価値を算出した。令和3年度に総合文化芸術センターが開館すれば、目標値の達成が可能と考えられる。	令和4年度内		
なし															
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	地区内における公立保育所の定員数	人	120	平成25年度		－	159				平成29年度に、枚方市立枚方保育所を建て替え供用開始したこと(120人→140人)、枚方市立おおがいと小規模保育施設を開設したことにより(0人→19人)、定員数を増加することができた。	－		
その他の数値指標2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
その他の数値指標3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
4)定性的な効果発現状況	・枚方保育所のリニューアルにより、防犯カメラ設置による防犯対策と、バリアフリー化やエレベーター設置による障害のある児童を含めた様々な児童への支援の充実を図ることができ、保育機能を向上することができた。 ・総合文化芸術センターの整備が進むにつれて、問合せ件数の増加と、市民説明会等に多数の市民が出席するなど関心が高まっている。														
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング		－					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					－		
	住民参加プロセス		総合文化芸術センターの開館に向けて、市民へのe-アンケートの実施や、市内文化団体を対象とした意見聴取会を開催した。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 総合文化芸術センターを拠点に「(仮称)市民総合文化祭」等のイベントを開催し、文化団体や市民と共に賑わい創出を図る。		
	持続的なまちづくり体制の構築		枚方市とUR都市機構は平成28年に締結した包括連携協定に基づき、地域の活性化に資するまちづくりを協働で推進している。 市は、都市再生整備計画に滞在快適性等向上区域を設定し、UR都市機構は、まちなかウォーカブル推進計画を策定し事業を実施している。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 本市においては、令和3年度から都市再生整備計画(2期)の事業を実施し、UR都市機構においては、引き続きまちなかウォーカブル推進事業を実施する。 今後もそれぞれの取り組みについて、連携しながら持続的なまちづくりを進める。		

様式2-2 地区の概要

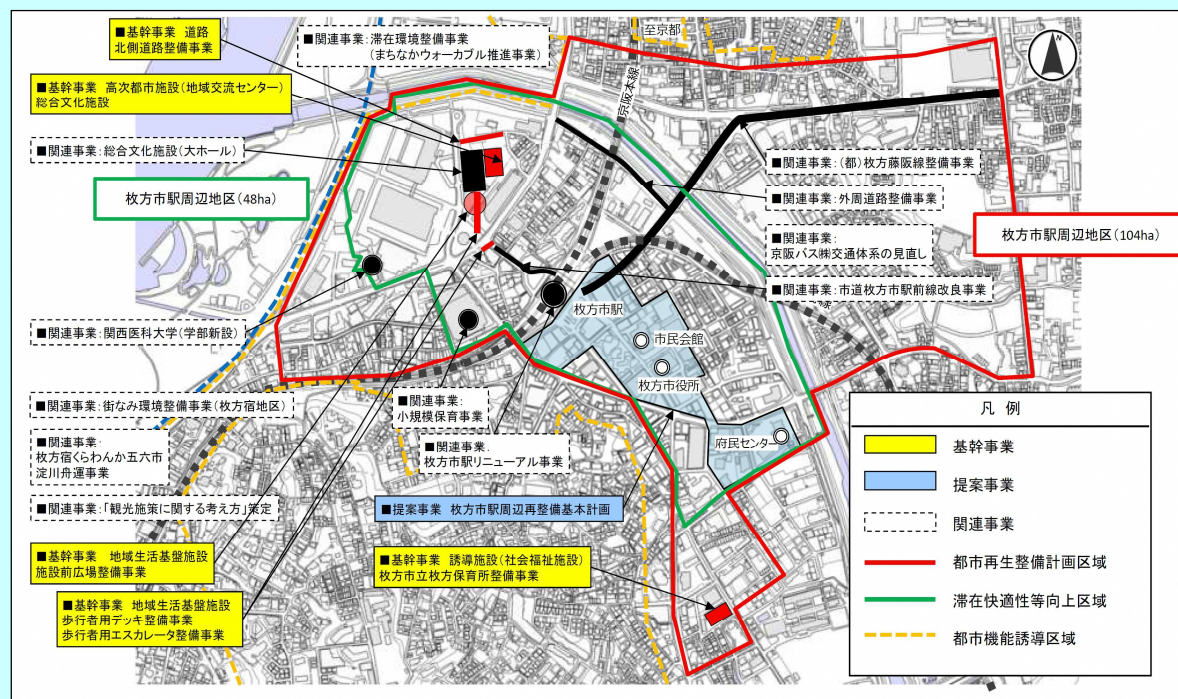
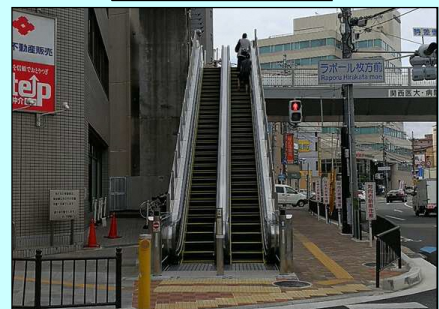
枚方市駅周辺地区(大阪府枚方市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
地域資源を活かした拠点機能の強化による市の“玄関口”におけるまちの賑わい向上 目標1:集客力の向上による賑わい創出 目標2:回遊性の向上による賑わい創出	賑わい向上による地価上昇	単位:千円/㎡	461	H29	530	R3	527(見込み値)	R3
	来訪者数の増加による売り上げ増加	単位:百万円/年	310	H29	757	R3	757(見込み値)	R3
	公共交通利用者数の増加による売り上げ増加	単位:百万円/年	24	H29	83	R3	86(見込み値)	R3
	地区内における公立保育所の定員数	人	120	H25	—	R3	159	R3

北側道路、総合文化施設、
施設前広場、歩行者用デッキ



歩行者用エスカレータ



枚方市立枚方保育所



枚方宿くらわんか五六市



淀川舟運



まちの課題の変化

- ・枚方市立枚方保育所の建て替えが完了したことにより、保育施設における施設規模の拡大と新たな諸室が整備され、地域の子育て環境の向上に繋がった。
- ・歩行者用エスカレータについては整備が完了しているが、総合文化施設、施設前広場、北側道路、歩行者用デッキについては整備中である。総合文化施設、施設前広場が完成すれば、文化芸術活動の場となるホールや市民活動を支える諸室のほか、地域の人たちが気軽に訪れることができるロビーや施設前広場が整備され、集客力の向上による賑わいの創出が期待される。また、北側道路、歩行者用デッキ、歩行者用エスカレータ全ての施設整備が完了すれば、総合文化施設と枚方市駅間を有機的に繋ぐことができ、安全・安心な歩行者アクセスを確保するとともに、周辺の淀川河川公園などへの回遊性の向上に繋がる。
- ・施設の老朽化が見られ、多様化する市民ニーズに対応した機能が求められている公共施設が残されている。
- ・京阪枚方市駅へ向かう交通の集中や、駅前を通過する車両による駅前広場の混雑、周辺道路での慢性的な交通渋滞が発生しているといった課題が残されている。
- ・枚方市駅前広場や市役所周辺に人々が集中しており、行動範囲が限られているといった課題が残されている。

今後のまちづくり
の方策
(改善策を含む)

・残された課題について、枚方市駅周辺地区(2期)都市再生整備計画を策定し令和3年度から事業を実施することで、地域資源や誘導施設を活かした拠点機能の強化と公民連携による交通環境改善により、市の「玄関口」における更なるまちの賑わい創出を図る。

- ・公共施設の統廃合や合築などによる施設機能の複合化を促進し、公共施設の利用増進を図る。
- ・通過交通を抑制するため、周辺道路の整備と併せて交通体系を見直し、公共交通の定時制の確保と交通渋滞の緩和を図る。
- ・駅に集中する人の行動範囲を広げるため、歩道の整備や無電柱化事業を実施し、ウォーカブルなまちづくりの取り組みを推進することで、安全・安心な歩行空間の創出及び回遊性の向上を図る。